

Brown Bag Seminar

ブラウンバッグセミナー

録画期間限定公開
オンライン (Zoom)

2022.2.2 (水)



【技術支援】九州大学 Q-AOS & TEMDEC

登録はこちら

日 ← 同時通訳 → 英

12:10 ~ 12:50

- 12:10-12:15 ◆ 演者紹介
- 12:15-12:40 ◆ プレゼン
- 12:40-12:50 ◆ 質疑応答

https://temdec-med-kyushu-u-ac-jp.zoom.us/webinar/register/WN_OKkUTKhZSZaiT8CWfqacWg

免疫細胞を用いたがん治療：最近の進歩

司会：横田 文彦 准教授 (Q-AOS 研究推進コーディネーター)

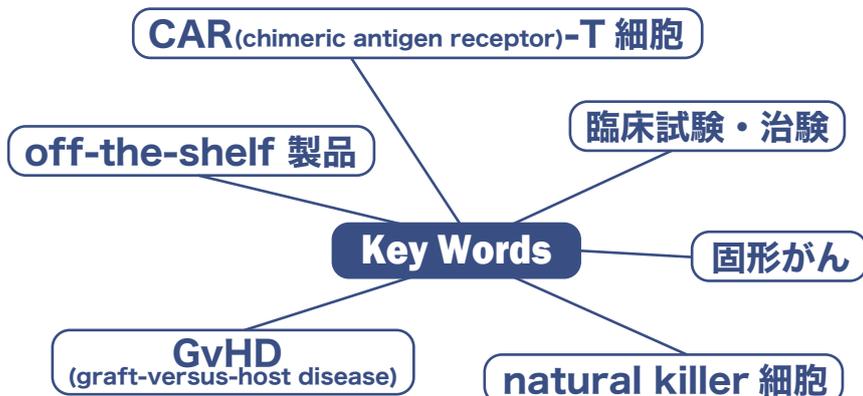
キムリアなどの自家 CAR-T 細胞は、血液がんを目覚ましい薬効を発揮することがわかって来ましたが、まだ固形がんへの効果は限定的です。我々は 12 年程前より独自の培養系で得た特異な性質を示す NK「様」細胞 (GAIA-102) を発見し、その固形がんへの効果とユニークな特徴を明らかにして来ました。本セミナーでは、がん免疫細胞治療の概要と我々の GAIA-102 の現状ののアウトラインを概説したいと思います。



米満 吉和 教授

九州大学 大学院薬学研究院

米満先生は、1990年に九州大学医学部を卒業し、研修医を経て大学院に入学後、1996年に医学博士を取得しました。その後、九州大学病院で血管外科医として2年間勤務し、ロンドンのインペリアルカレッジ医学部にリサーチアソシエイト、またウェスカムトラストリサーチフェローを兼任しました。帰国後、九州大学病院病理部に助手として復職、以後講師、医学研究院助教授を経て、2006年より千葉大学客員教授、2009年より現職。また昨年より総長補佐(産学連携担当)も勤めています。研究領域は、一貫して遺伝子治療・細胞治療領域におけるトランスレーショナルリサーチです。



3 すべての人に健康と福祉を



9 産業と技術革新の基盤をつくる



12 つくる責任 つかう責任



17 パートナリシップで目標を達成しよう